

す。ミニボートピア大須は地元の同意は得られているが、競艇振興会からの協力が得られないため、しばらくの間、推移を見守りたい。

**松本昌成（公明党）**

**市税の収納率向上は**

**問** 収納率向上のために窓口業務の延長はどうか。

**答** 今年度10月時点で、滞納者は約9千人、金額で約25億9千万円である。平成17年から休日市役所窓口センターでの税の受領業務を行っている。今後は業務の効率化を進める中で、窓口業務の拡大も検討する必要はあると思っている。

**特色ある学校づくりプロジェクト**

**問** 来年度で完結するが、その後の活用はどうか。

**答** AET（英語指導助手）や相談員の雇用、部活動や図書室の充実など大変いい成果を上げている。この3年間の取り組みにより、

環境整備、事業研究・指導法の研究、教員の資質の向上の充実を図ることで、教育の進化と発展が図られてきていると感じている。

**竹内政住（市政クラブ）**

**国道23号蒲郡バイパスの坂本トンネルについて**

**問** 現在工事中の坂本トンネルの工事概要を伺う。

**答** さかもと橋西側から神ノ郷町に抜ける延長371mのトンネルである。工期は平成21年2月から23年3月である。掘削を22年6月ごろから11月を予定し、24時間作業で行われる。また、発破作業を22年7月から予定している。その後、23年3月までトンネル覆工を予定している。

**中部土地区画整理地内本宿線、環状線の予定は**

**問** 本宿線、環状線の来年度の事業予定を伺う。

**答** 本宿線は未補償物件を除く拡幅部の道路整備を進める。要移転物件につ



いては補償交渉中だが、難航を余儀なくされている。環状線は本宿線交差点から西へ180m区間の道路南の歩道整備を考えている。

**莊田博己（未来の会）**

**台風18号の被害について**

**問** 農林水産業において多大な被害が出ている。

**答** 県では、農業・漁業施設復旧のための無利子貸付制度を創設した。また、農協が生産復旧のための独

自の融資制度を商品化した。市はこれらの制度に対し利子補給を実施していく。

**問** 潮位によって自在に扉が開閉する防潮樋門で、今回の高潮時に、鎖で固定され開いたままの樋門があった。市内には自在扉をピンや鎖で固定している樋門がどの程度あるのか。

**答** 防潮樋門は市内に50カ所あり、33カ所が自在扉である。そのうちの11カ所の自在扉は固定している。

**問** その他の質問

- 1 港湾の粉塵被害
- 2 設楽ダム計画

**柴田安彦（日本共産党）**

**産科を維持するための連携を**

**問** 蒲郡市民病院の産科医が1名減った場合、お産が扱えるか。また、東三河の産科体制を維持するために、豊橋市民病院から医師を派遣してもらうことはできないか。蒲郡も豊川も市民病院で出産が扱えなく

なる時は、一方の出産体制を確保すべきではないか。常勤2名では緊急性のあるお産はできない。豊橋との連携の議論はしているが簡単にはいかない。豊川、蒲郡の両病院が出産を扱えなくなる前に、医局が医師の配置を前にも、豊橋市民病院から医師を派遣してもらうことはできないか。蒲郡も豊川も市民病院で出産が扱えなく

市民病院



**問** 産科医の負担軽減と、助産師確保、自然分娩の要望に応えるために、院内助産所の設置を考えるべきではないか。

**答** 裁判、逮捕問題がのしかかる現在の状況で、院内助産所が産科医の負担軽減につながるという決断はしかねている。